

6月23日（月）

あなたを悩ます問題

聖書朗読 I サムエル記 17:40～50

私が主を求めると、主は答えてくださった。私をすべての恐怖から救い出してください。
詩篇 34:4

母親のような優しさをもって、妻のサンディーは小さな黒い虫をドアに所に運んできました。「どうするんだい？」と私が聞くと、妻はその小さな虫がとても可愛らしくて、殺すことなんかできないと言いました。

そこで、私は職場に配達された箱のことを妻に話しました。その箱を開けたら、数千の、そうでなくても数百匹はいると思われる、「兄弟、姉妹」である小さな黒い虫が孵化していました。数時間後、小さくてそこらじゅうを這い回る無脊椎生物がオフィスのあるビルを占拠し、私たちは害虫駆除業者に助けを求めることになりました。

イスラエル人がペリシテ人と向かい合ったとき、特にゴリヤテがペリシテ人の陣地から上って来たとき、おそらく彼らは同じように感じたと思います。山のようにそびえる、そのペリシテ人の姿は、はじめは圧倒されるような光景だったに違いありません。そして、すぐに彼らはこう思いました。「この巨人をやっつけることなんて、できっこない」と。しかし幸いなことに、ダビデがやって来ました。ダビデには「主は、私を救い出してください」という経験がありました。

小さな害虫や、あるいは大きな巨人があなたの人生を乗っ取ろうとしていると感じますか？ 問題の大きさに関係なく、イエス様が私たちとともにいてくださることは、素晴らしい恵みです。イエス様は以前も私たちを救い出してくださいましたし、今、私たちを救ってくださることもお出来になるのです。

讃美歌 281

祈り 主よ。あなたは、弱い者も強い者も救い出してくださいます。私はあなたの愛に満ちた力強い御手に、私が抱えている問題のすべてを今日委ねます。

イエス様の御名において。アーメン。

ビル・アドックス

オクラホマ州 オクラホマシティ

今日の力

2014年6月23日～6月29日

翻訳 村越克子

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

6月24日(火)

自分のことではなく人のことを思っていますか？

聖書朗読 I 列王記 3 : 5 ~ 15

自分のことだけではなく、他の人のことも顧みなさい。

$$\text{ピリピ} \quad 2:4$$

ウェスリー・オートリーは、混雑するニューヨークの地下鉄のプラットフォームで電車が来るのを待っていました。すると一人の男性が誤って線路に転落してしまいました。電車のライト近づいてくのが見えます。オートリーは瞬時に判断し、線路に飛び降りました。彼は転落した男の上に覆いかぶさり、線路のレールの間に体を押しつけました。電車の運転手は彼らに気づいてブレーキをかけましたが、そのときにはもう止まることができず、5輦の車輦が彼らの上を通過しました。

電車は止まり、彼らは無事救出されました。オートリー氏はこう言いました。「特別なことをやったわけではなく、助けを必要としている人に手を貸しただけ」と。

こういったニュースを読むと、自分ならどうしたろかと考えます。助けようとしたらどうか、それとも他の傍観者と一緒にプラットフォームの上で見ていただけだろうか。

ソロモンがイスラエルの王に選ばれたとき、神様は夢のうちにソロモンに現れ、ソロモンに彼が願うものを求めるように仰せられました。ソロモンの一番の願いは自分自身のためではなく、イスラエルの民のためのことでした。ソロモンは神様の民を正しくさばくための判断力を求めました。

あなたが祈りの中で求めることを思い返してみてください。他の人のことを多く祈りますか。それとも自分自身のことですか？

讚美歌 第二編 26

祈り お父様。自分中心ではなく、人のことを考えることができますように助けてください。

イエス様の貴い御名において。アーメン。

ラリー・ブランナム

アーカンソー州 スプリングデイル

6月25日(水)

神を見る

聖書朗読 II列王記 6:8~23

信仰によって、私たちは、この世界が神のことばで造られたことを悟り、したがって、見えるものが目に見えるものからできたのではないことを悟るのです。

ヘブル 11:3

ドタンで敵に包囲されたとき、エリシャは、エリシャの召使いが自分の目で神様の御力を見えるようにしてくださいと、神様に祈って願いました。その祈りは、威厳に満ちたものでした。アラムの王はイスラエルの王を打ち負かしたいと思っていました。エリシャは神の力によって、アラムの王の動きをイスラエルの王に伝えました。そのことに怒ったアラムの王は、エリシャのいるドタンにやって来て、大軍でその町を包囲しました。エリシャの召使いは「ああ、ご主人さま。どうしたらよいのでしょうか」と言って恐れました。

エリシャは『恐れるな。私たちとともにいる者は、彼らとともにいる者よりも多いのだから』と言いました。そして、エリシャは祈って主に願いました。『「どうぞ、彼の目を開いて見えるようにしてください。」主がその若い者の目を開かれたので、彼が見ると、なんと、火の馬と戦車がエリシャを取り巻いて山に満ちていました。』(6：16～17)

神様を見ることは、すべての真の勇氣と強さのみなもとであり神秘です。神様は、私たちの身体的な目を開くではありません。私たちは、聖徒を助けてくださる神様の靈的な御力を見るのです。神様がどこにでもいてくださり、私たちが神様と靈的な関係をもち、そして、神様の目的はどんなことよりも強く愛に満ちていることを、私たちが覚えるなら、信仰によって神様を見ます。ですから、パウロが言うように、私たちはすべてのことに感謝をささげることができます。神様の慰めと愛を覚え、信仰によって、神様を見るのです。

讚美歌 412

祈り お父様。私たち一人ひとりを日々愛し、守ってくださることを感謝します。悪魔とその力を負かすためには、あなたの御力が必要です。私たちはお父様を愛します。

イエス様の御名において。アーメン。

エディ・C・ルイス

ミシシッピ州 オリーブブランチ

6月26日(木)

敵と向かい合う

聖書朗読 エズラ記 4：1～4

すると、その地の民は、建てさせまいとして、ユダの民の気力を失わせ、彼らをおどした。
エズラ記 4：4

主の神殿の再建は、大変順調に進みました。いけにえをささげるための祭壇も築かれました。石切り工と木工が雇われ、杉材がレバノンからの海路の途中にありました。主の神殿の礎が据えられ、主を賛美する歌がささげられました。最初の宮を見たことのある多くの老人たちは、主の神殿の基が据えられたとき大声をあげて泣き、ほかの多くの人々は喜びあふれて声を張り上げました。途中までは大変順調でした。そのときまでは。

敵がやって来ました。彼らは、最初は自分たちのことを、救いを求めている神様を信じる者だと言いました。しかし、すぐに脅したり、ユダとイスラエルの住民を非難する書簡で、彼らの気力を失わせました。おそらく15年間くらい、主の神殿の再建は中断しました。敵は、神の民の気力を失わせ、彼らを脅したのです。

この話をどのように思いますか？ このようなことが、あなたの身にも起こったことはありますか？ 良い働きは、それが小さくても大きくても、恐れと失望で中止されてしまうことが起こり得ます。

神様は、恐れや失望に対する対策をお持ちです。『強くあれ。雄々しくあれ。』（ヨシュア記1：9）。神様は彼らのうちにあり、私たちのうちいてくださるのです。

恐怖が戸を叩いたとき
信仰がそれにこたえるなら、
そこには誰もいない。
———作者不明

讃美歌 379

祈り 主よ。私たちが、あなたに完全に従うことができますように助けてください。
あなたは、私たちの恐れを征服し、勇気を保つようにしてください。
イエス様を通してあなたに感謝いたします。アーメン。

ブルース・M・ヘンダーソン
ネバダ州 カーソンシティ

6月27日(金)

神様の当然の罰

聖書朗読 エステル記 5：1～14

いのちを救おうと思う者はそれを失い、わたしと福音とのためにいのちを失う者はそれを救うのです。
マルコ 8：35

私の父は、若いときからテレビで西部劇や刑事ドラマをさんざん観てきましたが、晩年になって、昼間の時間帯のドラマに驚くほど関心をもつようになりました。父が毎日、観ていたドラマは、悪者が数週間かけて、他の者が破壊するように傲慢な計画を企てたのちに、彼が天罰を受けるところで、物語が最高潮に達するという筋書きのものでした。

そのようなひねくれた悪者のキャラクターに当てはまる例として、エステル記に登場するハマンよりぴったりの者はいないでしょう。ハマンはアハシュエロス王の宮廷の高官であり、ハマンのユダヤ人根絶の筋書きは、彼の自尊心と怒りから起こったものでした。というのは、モルデカイが自分に敬意を払うために、ひざをかがめようとしなかったからです。

皮肉なもので、モルデカイが王服を着て馬に乗って町の広場に行き、王の栄誉を受けました。それは、ハマンがうぬぼれて自分自身のために立てた計画でした。さらに暗転して、ハマンはモルデカイのために準備しておいた絞首台につるされました。

物語のいたるところで、エステルの行動や態度には、勇気と謙虚さ、そしてユダヤ人を救うために必要なら、どんなことでも進んでするという気持ちのお手本が際立っています。『私は、死ななければならいのでしたら、死にます。』（エステル記4：16）は、彼女の信仰をあらわす大胆な言葉であり、どんな状況にあっても主のために生きるように私たちを勇気づけてくれます。

讃美歌 350

祈り 親愛なる主よ。あなたのご計画に敵対することが常にありますが、勇気と信仰をもって悪に対抗することができますように助けてください。あなただけが与えてくださる強さを感謝します。
イエス様の御名において。アーメン。

アン・スピンラー
メリーランド州 フレデリック

6月28日(土)

深い悲しみを慰める

聖書朗読 ヨブ記 16:1~12

慰めもまたキリストによってあふれているからです。 IIコリント 1:5

深い悲しみの中で苦しんでいる人に、あなたはどのような言葉をかけますか？ 大切な人を失うことは、地球上で暮らしている大多数の人にとって避けられないことです。悲しんだ結果、神様を非難する人もいます。ヨブ記に記されているように、ヨブは子どもや財産、自分の健康さえも失う苦しみを体験したのち、神に非難を浴びせかけました。深い苦痛から、この正しい人は神様に非難を投げかけて苦痛を表現します。

ヨブは3人の友人が自分の言葉や感情を無視していると思いました。友人はヨブの言葉や感情を理解するのではなく、ヨブが感じていることを否定して、激しい非難で彼を容赦なく打ちます。ヨブは彼らのことを『むなしいことば』をかける『煩わしい慰め手』だと言っています(ヨブ記16:2~3)。

ヨブ記16章は、苦しみのただ中にある人にどのように接したらいいかについての大きな教えを与えてくれます。ヨブは神様が慈しみ深く、ご信頼できるお方であると信じることで、極度の心身の苦痛をとりなそうとします。このような過酷な状況において、ヨブが神様にどのように応えるべきかを教えることは、ヨブが必要とすることではありません。説教よりも相手を思いやることや話を聞くことの方が、はるかに良い慰めとなります。今日、人に慰めをもたらす機会があるかもしれません。人の話を聞いてあげることを覚えましょう。

讃美歌 312

祈り 御在天のお父様。悲しんでいる人の気持ちを聞くことができますように助けてください。苦痛のうちにある人に慰めをもたらす言葉を与えてください。傷ついている人が、自分の信仰と戦っているとき、辛抱強く待つことができますように。

イエス様の御名において。アーメン。

ロバート・P・リー
コロラド州 オーロラ

6月29日(日)

神は道を知っておられる

聖書朗読 ヨブ記 23:1~10

しかし、神は、私の行く道を知っておられる。神は私を調べられる。私は金のように、出てくる。 ヨブ記 23:10

「みんな問題を抱えているものさ」。この言葉を、何度となく耳にしましたが、自分の人生でいくつかの問題が山積みになるまで、この言葉について本気になって考えませんでした。16年前、妻がガンと診断されました。それは私の心の中で恐怖を呼び起こしました。しかし、現在、妻はガンに侵されてはいません。この試練は、私には曲がり角の近くに何かがあるかわからないけれども、私の将来をつかんでくださっている方が、どなたであるかは知っていること、そして、そのお方の恵みは、何が起ころうとも十分であることを教えてくれました。

私たちは人間ですから、ときにはつらい目にも遭います。愚かな判断をして、ひどい目に遭うこともあります。あるいは、他の人がバカなことをして、その後始末をしなくてはならないときもあります。いずれにせよ、そういう場合私たちには、神様を非難する、降参する、歯を食いしばって耐える、あるいは、神様をお頼りしてお任せするという選択肢があります。

パウロは肉体に一つのとげを与えられたとき、『神様の恵みは、私に十分である』(IIコリント12:9)と書いています。神様はどんな試練のときにも、私たちとともにいてくださいます。そして、神様はこれらの試練を私たちにとって良いものとするこさえ可能なのです。

讃美歌 448

祈り お父様。あなたの素晴らしい愛と恵みをたたえます。あなたがいつもそばにいてくださり、あなたに手をのばすだけで、必要なときに助けてくださるといことを覚えることができますように助けてください。お父様、ありがとうございます。

イエス様の御名において。アーメン。

エディ・C・ルイス
ミシシッピ州 オーリーブブランチ